

あなたのカルマ鑑定書
～運命の人と出会えないのは？
人生の旅とソウルメイトの深い関わり～

Ms K□□、H□□

Kさん、こんにちは。

さて前世が存在する理由とは何だと思われますか？

もしかしたら「魂の向上」という言葉を聞いたことがあるかもしれません。

その言葉の意味自体は間違っていないです。

ただ、言葉としてももう少し正確に言うと、私たちが魂レベルで今生や

過去世のすべてが夢幻であることを「見抜く」ためと言えます。

夢幻の中なら私たちはそこで繰り広げられる出来事に対して

憎しみ、怒り、悲しみ、罪悪感などで苦しむ必要はありません。

けれども、今まさにKさんの人生で多くの痛みが繰り広げられています。

だからこそ「見抜く」能力を向上させる必要があるのです。

それが「魂の向上」という言葉として表現することができると思います。

決して「ダメな私(の魂)」を「素晴らしい私(の魂)」にすることではなく、

Kさんご自身の本質に戻っていくことが魂から求められていることです。

この世界は夢幻ですが、だからといって適当に扱うべきものではありません。

なぜならこの世界は、すべての魂の意志で選択した結果の世界だからです。

ですので「見抜く」ために真剣に向き合わなければ、

「見抜く」まで夢幻の世界に縛られるループが繰り返されていきます。

過去世は夢幻であることを見抜く重要なメッセージとしての役割もあるのです。

ではこれから、Kさんの過去世への旅に入っていきますよ。

過去世のリーディングはタロットの力も借りています。

展開されたカードは最後のページに載せておきます。

20代前半から中ぐらいの若いアジア系の青年の姿が見えてきました。

少しやせ形で背が高い、優しい雰囲気的青年です。

場所は台湾や中国あたり、時代は15世紀ぐらいでしょうか。

彼の家はお金持ちです。

飛び抜けてというわけではなかったようですが、父親に権力があつたようです。

少し小太りで、お金、権力、女性が好きという感じなのです。

ですので、愛人？側室？のような女性もいました。

母親はプライドが高い女性のようにです。

色々と夫への不満があるようですが、自分の中で見て見ぬふりをしていました。

そのストレスでしょうか、表情が陰しい感じがします。

自分より下の者、例えばメイドたちへの接し方が厳しいです。

この母親は今生でもKさんのお母さんのようです。

Kさんの前世の男性は、この家の跡取りのようで、大切に育てられてきました。

コントロールされてきたという言葉のほうがよいのかもしれませんが。

とにかく両親の思い通りになるように躾をされてきたようです。

彼がどこか覇気がなく、物悲しい雰囲気なのは、そんな理由からでしょうか。

父親は家の外に意識が向いていたので、それほど干渉はなかったのですが、母親の干渉はとても激しいものがありました。

彼は内向的な性格でしたし、研究肌の気質でしたので、学者のような仕事に就きたいと思っていましたが、それは叶わないことを知っていました。

両親とも許さないことは明らかだったからです。

両親に忠実でなければならない、忠義をつくさねばならないといった脅迫的な概念が彼の中にあっただろうです。

優しい性格ですから、両親に嫌われることなどしなくなったのでしょう。

そういう優しい性格から、両親には近づけない人々も彼に近づくようになりました。

父親は権力者ですので、その権力に群がりたいという人間はいるわけです。

父親はワンマンなので、自分が気に入った人以外は冷たくあしらっていました。

冷たくあしらわれた人の中に、彼に近づく人間がいたわけです。

彼は跡取りですので、父親からその権力や財力は引き継がれますから

それに目をつけた人が彼に近づいてきたのです。

近づいてきた人たちを友人だと感じ、彼は最初はすごく嬉しかったのです。

やっぱり誰かが自分を気にかけてくれるというのは、嬉しいことですから。

でも彼は段々と疲れてきました。

当たり前ですよ、近づいてきた人たちは彼が好きだからではなく、

彼の父親が持っているものが好きだからです。

ただ彼はいわゆる“利用されている”ことには気づいていなかったのです。

なんとなく疲れる、なんとなく人生が楽しくない、なんとなく、、、

そんな「なんとなく」をたくさん抱えていました。

それは自分が好きなことを置き去りにしてしまった「しんどさ」かもしれません。

また、色々なことを断れないというしんどさでもあります。

彼自身は両親には大切にされましたが、彼らの言うことを聞くからであって、

無邪気な彼に対してではなかったわけです。

心の深いところではそれに対して寂しい思いを抱いていました。

なので、他人が自分を気にかけてくれたことは嬉しかったのでしょう。

その人たちの願いに応えたいと思うのも自然なことかもしれません。

けれども友人たちとのそういう関係は、彼自身もあまり良いとは言えない

と感じていましたが、人が自分から離れていくのは辛かったのです。

彼はよくわからない得体のしれない何かに、自分自身が埋もれていくような

そんな感覚を感じるようになっていました。

それは死ぬまで感じていた感覚です。

重いような、脅迫的な、崩れるような、そんな思いを抱きながら死を迎えます。

次に二つ目の過去世についてみてみます。

一つ目の過去世が暗い感じだったのですが、今回は明るい雰囲気を感じます。

優しい時間が流れた過去世があったことも知ってほしいという

ガイドさまからの励ましのメッセージです。

ちょっと男勝りの7、8歳の女の子です。

場所が少し不明瞭なのですが、白人の女の子です。

カナダかヨーロッパではないかなと思われまます。

自分の意志がはっきりした女の子ですので、両親も手を焼いていますし、

物静かな兄と比較すると、女の子は騒がしいので、よく喧嘩もします。

けれども、笑いあっている仲の良い家族です。

女の子も優しい心の持ち主ですので、みんなが彼女の虜みたいな感じます。

犬と原っぱを駆け回っていて、両親と兄はそれをみています。

お腹がすくと両親のところに戻って何か食べ物もらっています。

そしてお腹が満足すると、また遠くに駆け回っていきます。

兄は両親のそばで本などを読みながら、まったりと過ごしています。

時々突拍子のない行動をとるので、両親はしっかりと見守ってくれています。

それが女の子にはわかるので、ますますやんちゃになっていくようです。

兄も面倒見がよく、勉強や日常のここの世話を焼いてくれています。

そんな自由な環境の中で、女の子は日々成長していきます。

成長する中で女の子は仕事をもちたいと思うようになりました。

時代は19世紀後半なのですが、女性の進出はまだまだ発展途上です。

けれども好奇心旺盛な女の子ですので、挑戦したいと考えていました。

ただ「これ！」といった好きなことは思い浮かばなかったのです。

花が好きだったら花関係の仕事などといった、何か目的みたいなものが見つからずに悩んでいましたが、家族からの助言が助けになりました。

自分がいいなと思う企業に入ることを目標としたのです。

出版関係のような、企画などをするような会社のようなのです。

最初の仕事は雑用。

新人でもありますし、女性でもあるので、とにかく雑用です。

女の子も自分が想像していたものとのギャップが大きかったので、

最初のうちはとても落胆していました。

それでも家族の励ましがあつて、なんとか続けるうちに、経験が広がっていきます。

雑用は雑用なのですが、余裕が出てくると視野も広がっていきまふた。

明るく気の利く女の子でもあつたので、自分で考えて他の方々を

サポートしたりと前向きに頑張っていました。すると流れは変化していきます。

ちよつとした色々なことも任せてもらえるようになったり、

新しい仕事を教えてくれる人もいたり、人気者な感じになっていきます。

幼い頃も両親や兄がとても気にかけてくれたように、周りが虜になっていくそんな感じなのです。

その職場で女の子は好きな人ができたようです。

5つほど年上ですが、少年ぽいおちゃめな感じの男性です。

この男性もソウルメイトの一人ではあるようですが、一番という感じではないです。

ただ、魂的な性質がとても似ているので、楽しく過ごせる同士のような感覚、

友人に近い感覚だけれども慈しみ深い感覚を感じる、

魂的な関係はそんなような感覚です。

彼も女の子を愛していたので、彼らはしばらくお付き合いしたのちに結婚します。

結婚後は家庭が彼女の活躍の場になります。

子どもも生まれ、育児に翻弄されながらも日々楽しく過ごしています。

家事も母親に教わりながら、なんとかこなしています。

女の子はちょっと夫の両親は苦手のようなのですが、処世術は見事です。

これは会社勤めの中で色々な失敗や経験が役に立っているようです。

時々、働いている夫をみて羨ましいなど感じることはあったようですが、

子どもとの駆けっこや遊びが楽しいようですし、少しずつ上達していく家事も

それなりに楽しいようですので、ほぼほぼ満足しています。

次は彼とのご縁に関する過去世をみてみます。

場所は日本のようです。時代も江戸の中期～後期かなと思います。

ご留意頂きたいのは、過去世は時間が重なり合っていますので、

同じ時期に別の場所でKさんが生きているというのは、矛盾しません。

Kさんは女性です。何か商家の良いところのお嬢様のようです。

ご両親からとても大切に、また厳しく育てられてきました。

そしてソウルメイトは、身分違いという間柄です。

すごくリーダーシップのある男性です。

粗野なイメージがありますが、面倒見の良い精悍な男性です。

多くの人に慕われていますので、人気者です。

ただ、身分の違う人にとっては彼は貧乏人ではかありません。

ですので、女性の両親にとりましても「下品」な印象しかないようです。

当然最初は、二人の気持ちなども気づいておらず、また気づいたとしても

二人が結婚することなどは許されるはずもないのです。

この女性も最初の過去世の男性と同じように親からの干渉は強いのです。

良いところにお嫁に行くべきように、自分の意志とは無関係に

様々な習い事や躰などが施されました。

この時代ですから娘に対しての扱いは不自然なことではないのですが、、、。

ただこのソウルメイトがちょっと変わっています、というか、リベラルな男性です。

あまり常識に囚われず、人の目を気にせず、自分の考えを持っています。

女性とはかなりギャップがありますが、実は魂は似ています。

Kさんは本来、好きなことを探求したり、常識に惑わされない

自由な資質が強い方です。

だいたい魂は自由とユーモアがあるのですが、差は多少あります。

Kさんは平均よりもそういう自由さやユーモアさが強いのです。

さて過去世のお二人に戻りますね。

お二人はソウルメイトですので、もちろん愛し合っています。

けれども女性の方は、気持ちがあっても行動をおこそうとはしていません。

女性は精神的に様々な制約の中で生まれ育ったので、

それ以外の道、自由があるとは思えないのです。

男性は何度か説得を試みっていますが、難しいようです。

先ほど魂の自由さやユーモアさが強いと言いました。

ですので、この環境は女性の本来の輝きも曇らせています。

本当は間違で、行動的でパワフルな女性なのです。

女性は情熱的にソウルメイトを愛していますが、クールな雰囲気です。

女性のその表現は固い石みたいな感覚です。

男性の愛は情熱的ですが、大人の男性のような包容力はありませんので、彼女の態度にひどく落胆して、強い怒りすら感じられます。

男性を慕っている人々も女性の周囲の人々も二人を反対しています。

それについて男性はそれほど気にはしていませんでしたが、

女性にとってはとても辛いことでした。

周囲のその冷たい視線をはねつけることはできなかったのです。

両親の大反対があっても、誰か一人でも周囲の人の協力があれば、

もしかしたら女性が行動をおこすことがあったかもしれません。

そうしているうちに、男性が旅に出るという話を聞きます。

けれどもやはり女性は、自分の今の居場所からは動けなかったのです。

男性がいなくなって、女性の心はぽっかり穴があいたようでした。

表情もなくなり、若い女性としての輝きも感じられません。

男性もちろん女性を愛していたのですが、自分の愛を信じてもらえないと感じ、

女性のそばにいたことが辛くなったようです。

男性はもしも女性が勇気を出して、ほんの少しでも行動をしてくれたなら、

どんなことがあっても全力で守り、経済的にも苦勞させない覚悟でいました。

だからこそ、自分の思いが通じなかったことが辛かったようです。

過去世のリーディングはここまでです。

次に占星術の面から今生のKさんを紐解いて見ましょう。

Kさんのホロスコープは最後のページに載せてあります。

お悩みの中で自分自身がなくなっていくように感じる

ということをおっしゃられていたのですが、そこから抜け出すには

何か一つ自分が心から欲しいと思うものを得ようと努力してみてください。

4室の太陽と2室の土星は、心地よい人間関係でも、お金でも、仕事でも

見るだけでときめく置物でも、どんなものでもKさんが納得する形で

所有するものを見つけることで、ご自身の基盤になることを示しています。

精神の強さは内なるものですが、外側にその象徴を作り、それを意識することで、

自分自身を確立していくプロセスを始めることができます。

1つ目と3つ目の過去世でも母親の影響を受けていますが、

それはASCと月のオポジションからも読み取れます。

Kさんは感受性が強く、劣等感を持ちやすいので、

母親との関わりの中で被害者的な意識が大きくなってしまったようです。

ただこれは過去世も勘案すると、乗り越えるべきカルマですから、

母親の呪縛からご自身を解放させることができるはずです。

ご自身の人生、母親の人生を混同させないでいいのです。

母親の期待にそぐわなくてもいいという許可をご自身に与えてください。

第1室の火星が示すように、小さいころから人と比べられたりと

競争意識にさらされていたのかもしれない。

心の中の焦りや妬みなどは、育ってきた過程で作りに上げられたものですから、

その性質はKさんご自身ではありません。

ご自身を向上させることよりも、抱えている荷物を降ろすような感じで、

無理をしなくていいと感じることが大切です。

その代り、人との交流を持つようにしてみると思わぬ才能が顔を出すでしょう。

何かを分かりやすく伝えることに長けている第3室の木星を持っていますので、

人と広くコミュニケーションを通して幸運が運ばれていきますし、

視野が広がりますので、Kさんの自由を縛っている価値観、

一つは母親とのことに関しても緩んでくると思います。

またKさんにとって「知る」ことは自由を得ることと同じくらい大切です。

何を知るか、それはご自身と母親が違う人間であること、違う魂であること、

Kさんがそれを本当の意味で知ったとき、その知識は力になります。

母親の影響を強く受けているのは、乗り越えるべきものとして

Kさんご自身の魂が強く望んでいることです。

そして母親も魂の深いところでそれを知っており、Kさんと母親、

両方がこの関係性を乗り越えることを望んでいるのです。

Kさんが楽しいと感じるものはなんですか？

第5室に金星があるKさんは、楽しんだり、遊んだりすることに
罪悪感を抱いてはいけない人です。

だからこそ、今はそういうことにも抵抗があるかもしれませんね。

ご自身の興味の赴くままに楽しむことができれば、創造性は開花します。

そこから思ってもみなかった何かを発展させていくことができるようです。

これはこの金星と火星、そしてMCがグランドトレインを成していることから言えます。

日本語でいうと幸運の大三角形です。

金星か火星のどちらかの性質をきちんとご自身に取り込んであげると、

おのずともう一方もバランスを取ろうとします。

やがてその2つの星がMCを支えます。MCというのはライフワークを指します。

Kさんは牡牛座にMCがありますので、創り出す力は欠かせません。

5室の金星をきちんと育ててあげることで、MCも流れに乗ります。

なんだか難しいと感じるのなら、外見だけでも変化してみましよう。

獅子座の要素も交じっているASCが乙女座ですので、

外見を華やかにしてみることも良い流れの変化をもたらします。

最後に彼とのご縁を紐解いてみたいと思います。

彼のホロスコープの最後のページに乗せてあります。

彼のホロスコープも単独で拝見したのですが、ちょっと「おお！」と思いました。

ほとんどの星がすごく固まっているんですね。

生活や趣味がものすごく偏っていたり、こだわりが強かったり、

そんなことがあるかもしれません。

ユーモアがあるような面白さではなくても、独特な面白い人だなと感じです。

さてご縁をみてみると「この人こそがソウルメイト！」というわけではありません。

Kさんにとって鍵となる人だという部分はあるかなと思います。

彼に惹かれるのはKさんの太陽と彼の土星がスクエアを

取っているからだと思いますが、この関係はKさんがしんどくなる

可能性がとても高いのです。

ソウルメイトの愛ある気づきというよりも、お互いに傷つけ合うかもしれません。

もちろんこのことは、ご縁を結んではいけないというのでありません。

ご縁を持ったら痛みを覚悟して成長する強い意志が必要な相手なのです。

ある程度距離を保っている相手であるなら、コミュニケーションが良く取れます。

ですので、Kさんの発信する能力をうまく活かしてくれたり、

経験なり、助けなりを与えてくれるパートナーとして頼もしさがあります。

ただ、近い関係になれば、すごく嫌なことが目につく相手でもあります。

もちろん、近い関係になれば嫌なことも目につきますが、

自分自身がダメになっていくような感覚に陥る相手でもあります。

過去世でも少し彼とのことをさぐってみたのですが、

あまりご縁があるような過去世がみつかりませんでした。

Kさんのソウルメイトは他に必ずいらっしゃいますから、

彼とは友人や同僚としての関係を大切にしてみるのがいいかなと思います。

もし今、深い関係を持っていらっしゃるのなら、

お二人の関係に何か障害があるようなのですが、いかがでしょうか。

私たちの人間関係はご縁をもった時点でカルマが発生します。

ですので、相手を憎むなどの悪いカルマを残すようなご縁の持ち方は
しないほうがよいのです。

相手を好きになった、ご縁を持ったというのは、

ご自身の魂にとって何か意味があるからなんです。

ご縁が薄い場合、その意味を発掘して、解放することが大切です。

母親とのご縁を正しい方向に持っていくと、必ず異性関係に変化が起きます。

私たちの父親と母親はソウルメイトへの扉でもあるからです。

ノック(カルマの解消への一歩)をしたら、扉が開かれます。

以上でリーディングは終わります。

次はそのリーディングが意味することをまとめとして示していきます。

.....ま と め

■ 一つ目の過去世について

乗り越えるべき課題としてでてきていたのは、相手の出方に忘れて自分の出方を変えることをするべきではないというようにカードに出ていました。これはお母さまとの関係でのことももちろん示していますが、他の方との関係でも何からの影響が出ているようです。幼少期などは無邪気さ自由さを感じていたようですので、今は忘れているだけです。それを思い出すことで、可能性は再生します。38歳～40歳ぐらいがKさんの新たなスタート地点になるようですので、今まさにその時期のようですね。

■ 二つ目の過去世について

二つ目の過去世というのは、Kさんの本質をよく表しています。その時その時を楽しんでおり、焦燥感などとも無縁です。「まあいっか」そんなおおらかさを感じました。あと彼女は人や物ごとに対してすごく察する能力が高いです。それはKさんの顔色を伺うという部分の陽の側の部分です。ですので、今は陰に傾いているその能力は悪いものではありません。陽の部分が表に出ればいいのですから。

■三つ目の過去世について

ソウルメイトに出会うために必要なこととして、カードが教えてくれたのは、生まれ変わりです。これは象徴的なものです。

生まれ変わるぐらいの破壊と再生を経験する覚悟をするぐらいの意志を持ってほしいと出ていたのです。

それぐらいの意志がないと出会いがなかなか訪れないということは、今、Kさんご自身が生きづらさのピークなのかもしれません。

■ホロスコープについて

最初にホロスコープをみたとき、パッと浮かんだイメージは「探求」「遊び」「創造性」でした。

遊びというのは、ご自身にとって楽しいことですので、

分厚い辞書を読むことだっただってご本人にとっては遊びかも知れないのです。

ですので、Kさんにとっての「遊び」を見つけてみて下さい。

先ほど3室の木星について申し上げましたが、ここは本当に鍵です。

Kさんのパートナーシップの部屋である7室は魚座なのですが、

魚座の守護星は木星ですので、この3室にある木星の力を育てることで

ソウルメイトへの道はぐっと力強いものとなります。

2019年2月21日

一つ目の過去世で展開されたカード



二つ目の過去世で展開されたカード



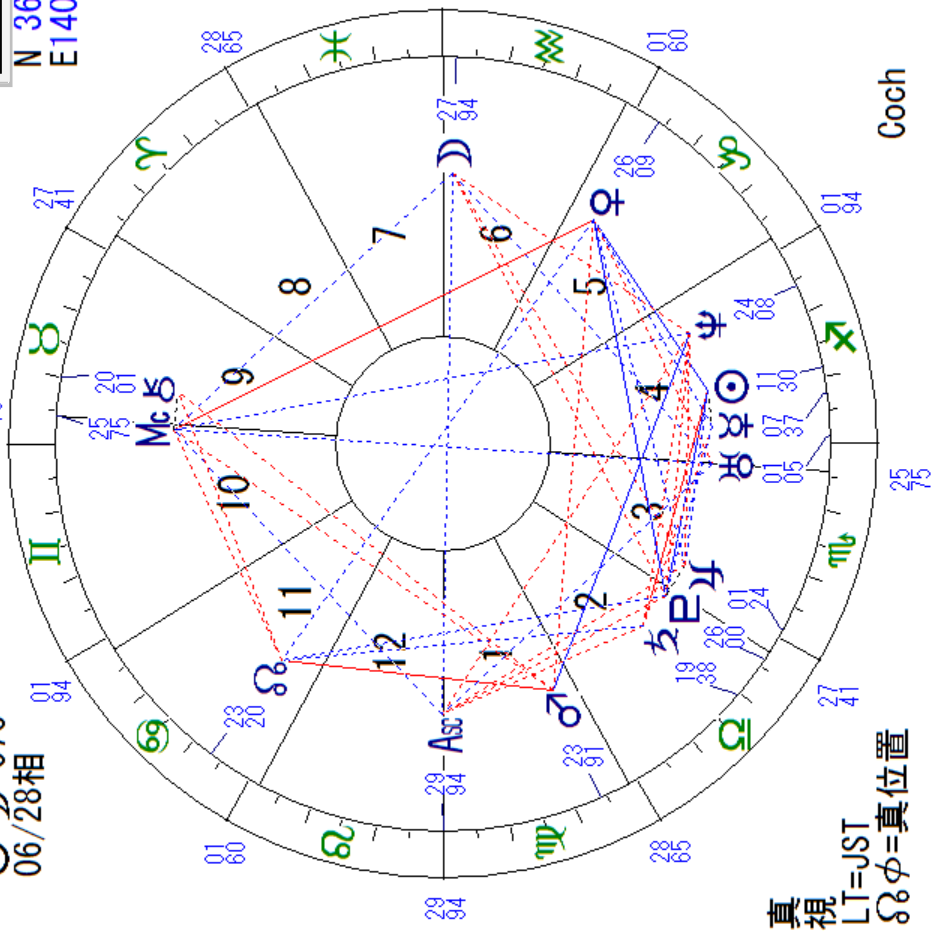
三つ目の過去世で展開されたカード



さま

06/28相

N 36.35
E140.39



真視
 LT=JST
 Ωφ=真位置

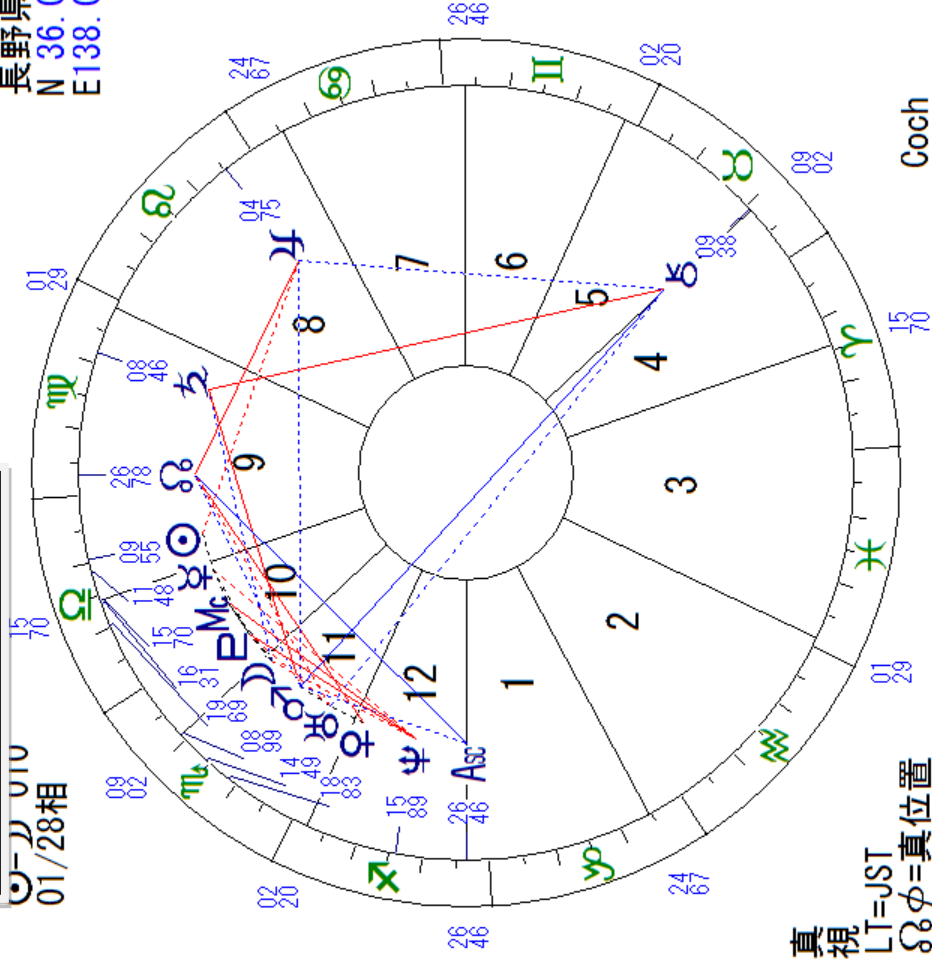
黄経 赤緯

☉	♋	29.94	-22.14	♂	♋
☾	♎	27.41	-14.97	♀	♎
☿	♏	25.01	-21.96	♂	♏
♀	♊	26.09	-23.66	♀	♊
♂	♏	23.91	+04.21	♂	♏
♃	♏	01.24	-10.86	♂	♏
♄	♏	19.38	-05.44	♂	♏
♅	♋	01.05	-20.21	♂	♋
♆	♋	24.08	-22.05	♂	♋
♇	♋	26.00	+05.55	♂	♋
Asc	♋	29.94	+11.49	♂	♋
Mc	♋	25.75	+19.20	♂	♋
Ω	♋	23.20	+21.45	♂	♋
φ	♋	20.01	+15.13	♂	♋

接近 1種 W6.0 T1.0 2種 W6.0 T1.0 P W6.0
 離反 1種 W6.0 T1.0 2種 W6.0 T1.0 P T1.0

のお相手 さま

長野県辰野町
N 36.00
E 138.00



真視
LT=JST
♁φ=真位置

黄経
赤緯

☉	♏	10	15.48	09.55
☾	♏	11	11.48	19.69
♂	♏	8	04.75	11.48
♀	♏	9	08.99	18.83
♁	♏	11	08.99	08.99
♂	♏	11	04.75	04.75
♁	♏	11	08.46	08.46
♁	♏	11	14.49	14.49
♁	♏	11	15.89	15.89
♁	♏	11	16.31	16.31
♁	♏	11	26.46	26.46
♁	♏	11	15.70	15.70
♁	♏	11	26.78	26.78
♁	♏	11	09.38	09.38
♁	♏	11	09.38	13.64

接近 1種 W6.0 T1.0 2種 W6.0 T1.0 P W6.0
離反 1種 W6.0 T1.0 2種 W6.0 T1.0 P T1.0